

令和4年度 公民科 「公共」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年1～8組
教科書	高等学校 公共 これからの社会について考える(数研出版)	副教材等	クローズアップ公共 2022 (第一学習社)

1 学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	巻頭特集 生活の中の公共	青年期の特徴と心理 思想・宗教 SDGs(持続可能な開発目標) 帰納法 演繹法 功利主義 実存主義	・科学技術の発達と生命、暮らしの中の宗教と芸術などを通して、公共的空間においていかに生きるかを主体的に考える大切さを深める。 ・地球環境問題とその取り組みを考察する。 ・限りある資源と資源問題の解決策について考察する	ワークシート分析  小テスト
	5	第2節 現代の諸課題と倫理	資源エネルギー問題 科学技術の発達と生命倫理 高度情報社会の進展と課題	・科学技術の発達をもたらした成果と問題点を生命倫理の観点から考察する ・高度情報社会とその問題を考察する。 ・ワークシートとノートの活用	行動観察  ノート点検 定期考査成績
	6	第2章		中間考査	
	7	第1節 民主社会の基本原則	個人と国家 基本的人権 法の支配	・日本国憲法の成立過程と内容を理解し、基本的人権の内容を現実の社会の問題として理解を深める。	ワークシート分析
	7	第2節 日本社会の基本原則	日本国憲法の基本原則 平和主義と安全保障 自由権と平等権 社会権 新しい人権 国会 内閣	・憲法の平和主義を国際的な安全保障の問題との関連の中で考察する。  ・国会・内閣などの日本の政治機構について理解する。  ・ワークシートとノートの活用 ・視聴覚教材と班活動の利用 教科書 P 56～81	小テスト  行動観察  ノート点検 定期考査成績
				期末考査	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
	9	第3章			
	10	第1節 法と契約	法の意義・役割	・法の意義や役割を理解し、経済活動や生活の中での関わり方を考察する	小テスト
	10	第2節 司法参加の意義	消費者問題 司法権 裁判所 裁判員制度	・司法権や裁判所の役割を理解する  ・裁判員制度など司法制度改革を理解し、司法参加の意義を主体的に考察する	行動観察  ノート点検
			中間考査		定期考査成績

第2学期	11	第4章 第1節 政治参加と民主政治の課題	選挙制度 地方自治  世論形成と政治参加 メディアリテラシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい政治の在り方及び主権者としての参政の在り方について考察する。</li> <li>・戦後の国際政治の過程を理解し、国際紛争などの世界的な課題について理解するとともに、国際社会における日本の役割や日本人の生き方について考察する。</li> </ul>	ワークシート分析  小テスト  行動観察  ノート点検
	12	第2節 国際政治の動向 第3節 国際政治の課題と日本の役割	国際法 冷戦  憲法と自衛隊 日米安保体制 核軍縮 国際連合の活動 人権問題		定期考査成績
期末考査					
学期	月	单元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第5章 第1節 経済の仕組みと産業の変革 第2節 市場経済のしくみと金融	市場経済 企業  経済成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の変動する経済社会について、市場と企業の働き、政府の役割と財政、金融機関の働きについて理解し、経済活動における個人と社会の関係について考察する。</li> </ul>	ワークシート分析  小テスト  行動観察
	2	第3節 財政と社会保障	財政 金融  日本経済のあゆみ 中小企業 食の安全と農業 労働問題 公害問題 消費者問題		ノート点検
	3	第4節 国際経済の動向と課題	貿易 国際経済の歴史 国際収支 地域統合 南北問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本経済の歩み、公害問題、労働問題と雇用、社会保障と福祉社会などについて理解を深め、これからの経済社会が目指す生活向上と福祉増進の意義について考察する</li> <li>・現代の国際経済の動向や南北問題などの世界的な課題について理解するとともに、国際社会における日本の役割や日本人の生き方について考察します。</li> </ul>	定期考査成績
	学年末考査				

### 3 評価の観点

知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めている。

### 4 評価の方法

学習活動への取り組みの様子、プリントやレポートの提出状況とその内容、レポートの発表、定期考査を上記の3観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

「公共」という科目は私たちを取り巻く複雑な社会を理解し、自分自身の在り方を主体的に考えるための科目です。授業では基礎的な知識を学ぶとともに、現代の社会が抱えている諸課題について勉強します。諸課題について自分自身で考え、自分自身の在り方・生き方について見つめなおす機会にしてほしいと思います。日頃からニュースにふれて、学習の成果が生きたものとなるよう努力して下さい。提出物等はしっかりと取り組みましょう。